

このコーナーは、市民の皆さんからの
 におりにお答えする「つながる」掲示板です。
 広報ながさきの感想やまちづくりに関するご意見を
 プレゼントクイズのコーナーにお寄せください。
 掲載されたかたには、図書カードをプレゼントします。



✉ **今年の平和祈念式典で中止になった城山小学校に通う児童の合唱の映像を市役所で見られると聞きました。**
 (岩見町・40代のかた)

市庁舎の大型ディスプレイで放映し、その後ホームページで公開します。

今年の平和祈念式典で実施予定だった子どもたちによる合唱や演奏は台風の影響で中止になりました。そこで、子どもたちが合唱や演奏をしている様子を動画で撮影し、市庁舎の大型ディスプレイで庁舎前広場に向けて放映しています。
 放映は午前11時2分から5分程度です。今後の放映スケジュールは次のとおりです。



放映日	学校名	曲名
12/8 金～ 12/22 金	長崎玉成高等学校	千羽鶴 (ハンドベル演奏)
12/23 土～ 12/30 土	城山小学校 長崎中学校	子らのみ魂よ (合唱) 千羽鶴 (ハンドベル演奏)
12/31 日～ 1/7 日	純心女子高等学校 長崎玉成高等学校	千羽鶴 (合唱) 千羽鶴 (ハンドベル演奏)

子どもたちの平和への思いが詰まった合唱や演奏をぜひご覧ください。
 放映した動画は、大型ディスプレイでの放映が終了したら、「ながさきの平和」ホームページへ掲載します。
 (調査課 ☎829-1147)

今月のプレゼント

今月にご覧の商品をプレゼント!!

クイズ
長崎市公式LINEアカウント
キャラクターの名前は？
 (ヒントは裏表紙)
答え
おせっ貝〇〇〇〇

『長崎鯨つけちゃんぽん(3食)』
 佐藤製麺所

10名様にプレゼント

独自にブレンドした小麦粉を使って昔ながらの製法で作ったちゃんぽん麺と、「井上商店」の鯨を使ったこだわりのちゃんぽんスープをお届け。麺の風味と鯨のうま味が味わえるつけ麺ちゃんぽん。



☎ 095-845-7164
 🔍 佐藤製麺所

応募方法
 ①答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥興味を持ったコーナー名 ⑦広報ながさきの感想やまちづくり全般の意見を、市ホームページかはがきで。(12月31日◎締切)
 ※個人情報はプレゼントの発送に使用します。また、意見の内容によっては担当課に情報提供する場合があります。

【市ホームページ】 トップページ「市民参加」の「プレゼントクイズ」
【はがき】 〒850-8685 (住所は記載不要)
 長崎市役所「広報ながさき」プレゼント係
 発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。お便りは、広報紙などで紹介する場合があります。



【11月号の答え】
夏盛
 10月号には332通のお便りをいただきました。ありがとうございました。

音楽で平和を訴えた被爆作曲家・木野普見雄

今回放映した「子らのみ魂よ」、そして来年の平和祈念式典で山里小学校の児童が合唱する「あの子」。どちらも同じ人物が作曲したものだとご存じでしょうか。

作曲者は、市の職員だった木野普見雄さん。妻と2人の子どもと城山町に暮らしていました。

原爆が投下された時、木野さんは市役所において、深夜まで近辺の消火活動に当たり、その後、自宅へ向かいました。家族はどこかの防空壕にでも避難しているに違いないと念じながら歩きました。午前3時頃に帰りついたものの自宅は倒壊し、がれきも火災の熱で触れず、家族の手掛かりはありませんでした。

11日、自宅跡のがれきの下から妻と子ども2人の遺体を掘り起こしました。木野さんは愛する家族の遺骨をそうめんの箱に丁寧に詰め、強く抱きしめました。



自宅跡に座る木野さん(資料協力 木野隆博氏)

木野さんは「湧き流れる涙、つきせぬ涙をどうすることもできない、憤り悲しみ、複雑した感情が心の底から爆発」と当時の気持ちを書いています。

「原爆の惨禍を忘れてはならない。戦争を再びやってはならない。」そのために自身の被爆体験や原爆の生々しい実相を伝える必要があると思いました。

木野さんはその手段として、音楽を選びました。歌曲に共感してもらえれば平和への布石になるのではないかと考え、作ったのが「あの子」や「子らのみ魂よ」です。発表時には、聴衆からすすり泣く声が聞こえ、目頭を押さえる人も多かったそうです。

【あの子】より (永井 隆/作詞)

壁に残った 落書の 幼い文字の あの子の名
呼んでひそかに 耳すます
あゝ あの子が生きていたならば

【子らのみ魂よ】より (島内 八郎/作詞)

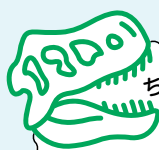
澄みわたる 城山の空 うちひろく 鶴の港に
平和なる 光みつれば 先生よ 子らのみ魂よ
安らぎて とわにましませ

「原爆と取り組まなくては生きた甲斐がない」と語った木野さんは、その後も市役所に勤務しながら原爆や平和をテーマに作曲を続け、原爆症のため昭和45年に62歳で亡くなりました。

参考 「原子野のうた声 被爆作曲家の手記」
木野普見雄/著 長崎国際文化協会

編集こぼれ話

10月28日④に長崎ブリックホールで、遠藤周作の作品にちなんだ豆本制作体験がありました。豆本とは手のひらサイズの本。午前は大人向けの恋愛の豆本、午後は子ども向けの可愛い動物が描かれた豆本を作りました。



恐竜図鑑

『鎧竜の背中』

(分類) 装盾亜目・鎧竜下目 / (産地) アメリカ / (時代) 白亜紀

一見ただの石ですが、鎧竜という植物食恐竜の背中にある皮骨と呼ばれる骨です。骨の成分であるコラーゲン線維が複雑に絡まり、特殊な構造をしています。腕や足の骨とは違い、敵の攻撃を防ぐ“鎧”となっていました。ワニなど皮骨を持つ現生動物の研究から、皮骨には防御以外にもカルシウムの貯蔵などの役割もあったとされています。



【学芸員】
小平さん



問い合わせ

恐竜博物館 ☎898-8000